<b>対策名</b> 健康で幸せにすごせ	るまち	施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進
----------------------	-----	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------

	所管課係名				対象指	堙	活動指		成果指					事務事業全体			一般則	才源分	
事務事業	所管課長名		事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと 数値指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータルコスト		特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議
番号	<b>本双声带</b> 力		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	+E.+m	実績値	+E-1票	実績値	北井	実績値	1	2	1)+2	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費	古巻巻の柳西梨田	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	- (26年度に向けた 方向性等)
	事務事業名				指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	事業費の概要説明	(千円)	及びその理由等	
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	計会 18歳以上の市民及び、その家族で健		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	平成24年度	亚 (至于的ヘエ/ りゅど	平成24年度	25年度以 26年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
	保健サービス係	根拠	(国) 健康増進法第十七条および十九条の二	- 対象 康管理上の助言相談を希望する者		466		466		100	222	411	633	必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3	7.4	担及び基準額超過分が市 負担)		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等	(印) 健康増進計画「わくわく健康プラン東くる め」	市民が利用しやすいよう、市内の各 地域センターで開催。生活習慣改善		(人)		(人)		( % )	222	411	033	説明欄:市内各地域センターで開催することで、健康課 (滝山) には、来所できない	14	〈 事業費〉 ・謝金 (保健師・運動指		説明欄:	
				の動機づけを「足指力測定」「血管 手段 年齢測定」などの健康機器を活用し て行い、健康に関する正しい知識の	18歳以上の市	平成23年度	建康情報を提供	平成23年度	康に関して	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	方の相談・健康教育の場となっている。   1回100名程度の申し込み枠で、健康度測定   も 行 っ て お り 、 参 加 者 も 多 い 。	平成23年度	導士・栄養士) ・事務謝金 ・パンフレット	平成23年度		
10-02-01		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容 普及のため、ミニ講座・個別相談を 実施。市民の健康づくりの支援を行	家族で健康管理上の助言を	260	した者の数管理 上の助言を希望 する者	260 正	ポに関して しい知識を た者の割合	100	148	335	483	健康情報の氾濫する中で、正確な情報と専門スタッフでの健康に関する相談事業は、	50				
	中高年健康相談事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)	う。また適宜ほかの機関と連携を図り、健康増進の継続につなげる。	希望する者	(人)	9 句白	(人)		( % )				'  今後も必要であると考えられる。そのた   め 、 継 続 が 必 要 な 事 業 で あ る 。   4回実施。					
	The teacher of the		■ 直営(委託無) □ 全部委託	市民が自分の健康について正しい知		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度		
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 識を習得し、自己管理できるようにする。		208		208		100	150	396	546	3	85				
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )						SX 00 488			5X 00 188
	健康課 特定健診係		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的 健康増進法	- 対象 胃がん検診受診者		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 降方向性 ア・統合含	平成24年度	説明欄:	平成24年度	25年度以   26年度以	説明欄:
		根拠	使尿垣延伍		-	1,025		172		17	0	74	74	必要性 2 有効性 2 達成度 2 効率性 2 説明欄:がん予防対策として、胃がん検診	0			必要性 有効性 達成度 効率性	_
	健康課長 原田 祐子	等		胃がん検診待ち時間に行なう「がん		(人)		(人)		( % )				終了時を利用して健康教育を実施している。受診者は空腹のため家路を急ぐ傾向					
				手段 予防の生活習慣」についての展示 ・乳がんモデルを活用した自己触診 ・ 法体験	胃がん検診受	平成23年度	建康教育の		ん予防に関 る健康教育		平成23年度	平成23年度	平成23年度	で、事業としては期待されている効果が得られてない。 24年度は23年度に購入したパンフレット及び無料のパンフレット、手			平成23年度		
10-02-02			□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容   ・健康相談 (希望者)   ・他のがん検診のPR	診者	1,047	受講者数	862 の 5	る 健康 教育 受講者 数/ 診受診者数	82	10	482	492	作りの展示用パネルを使用しているため、 事業費としてはかかっていない。次年度以	4				
	がん予防健康教育事 業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		-	(人)		(人)		( % )				降はパンフレットや展示用パネルのみでの 健康教育で充分と考える。					
		事業	■ 直営(委託無) □ 全部委託	市民へがん予防に関する正しい情報		平成22年度		平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度		
		形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 を提供し、健康の保持増進に役立て てもらう。		1,088		662		61	124	297	421	ı	83				
			□ その他( )			平成24年度		平成24年度		( % )	T = 0.4 = = = =	T et o 4 fer etc	T = 0 4 (T = 0)	25年度以 隆方向性 現状維持 26年度以 現状維持	T chot C ch	説明欄:健康増進費補助	T = 0.45 = 5	25年度以 26年度以	説明欄:
	健康課 保健サービス係	10.160	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的 (国)健康増進法	対象 食事・健康相談希望の一般市民		平成24年度		千灰24年度 63			平成24年度	平成24平度	平成24年及	1175172	平成24年度	金(基準額の1/3市負担及び基準額超過分が市 負担)	平成24年度	降方向性 降方向性	-
	健康課長	根拠 - 法令 等	(市) 健康増進計画		_	(人)		(人)		88	165	625	790	必要性   4   有効性   4   達成度   4   効率性   3    説明欄:生活習慣の見直しを希望される方	- 55	<ul><li>・人件費(栄養士)相談</li><li>・消耗品(パンフレット</li></ul>		必要性         有効性         達成度         効率性           説明欄:	-
	原田 祐子			工机 灯炉物、単仏目物ふと言動物とつの	妊娠期・乳幼			平成23年度			亚成23年度 3	亚成23年度	亚成93年度	に対し、病態に対する正しい知識や食生活 - 上の留意点など情報提供・助言し、健康管 理継続できることを支援している。既に通	亚成23年度	等購入費)	平成23年度		
10-02-03		財源	<ul><li> □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額</li></ul>	手段 妊娠期・乳幼児期から高齢期までの 食生活や健康に関する不安に対し 内容 て、助言、支援する。	児期から高齢 期までの食生 活や健康に不		泪談件数	自分	分に合った事の内容が			1 10,20 - 10	1 1020-100	院・服薬されている方も多く利用がある。 相談の結果、助言を実践し受診に繋がった	1 199,20-199		1 1020-10		
		$\vdash$	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		安を抱える市民(申し込み	1 1		世界の割(人)	事の内存が 解できた者 割合	( % )	177	643	820	り、検査データの数値改善がみられたりしており、有効性・達成度が高い。 (乳幼児の相談に関しては育児相談を利用する方が	59				
	食事相談事業		■ 直営(委託無) □ 全部委託	乳幼児期の離乳食の進め方や食事で	数)	平成22年度		平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度	- 多い) 管理栄養士・保健師で行っている事業で、	平成22年度		平成22年度		
		事業形態	<ul><li>□ 一部委託</li><li>□ 補助・助成金</li></ul>	の疑問点から高齢期の病態予防のための食事内容まで、全てのライフステージの食事・健康不安を解消、助		88		74		84				今後も市民が健康管理について気軽に相談できる場として必要である。					
		, ,O.	□ その他( )	言することで市民の食生活改善、健康維持・増進を図る。		(人)		(人)		( % )	609	575	1,184		352				
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	①概ね更年期前の市民女性 ②骨粗しょう症健診受診または骨粗		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 現状維持 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:健康増進費補助 金(基準額の1/3市負	平成24年度	25年度以 26年度以 降方向性	説明欄:
	保健サービス係	根拠	健康増進法第17条、第19条の2 東久留米市健康増進計画	対象 しょう症に興味のある市民女性 ③骨粗しょう症検診対象者の市民女		①16②77 ③158		①16②52 ③158		①100②90 ③100				必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4		担及び基準額超過分が市負担)医師等謝金・参加		必要性 有効性 達成度 効率性	1
	健康課長 原田 祐子	- 法令 等		①更年期に備え、女性ホルモンと身	①女性の健康	(人)		(人)		( % )	202	345	547	説明欄:女性が生涯を通じて健康で明るく 充実した日々を過ごせるように支援するこ	67	者の個別評価の実施。 消耗品費(女性の健康手 帳・女性の健康パンフ		説明欄:	1
				体の変化・冷え対策とストレッチ・	加者数	平成23年度	講座に参加して 生活に取り入れ	平成23年度 ケー	加 者 アン ートで生活 取り入れら	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	とが求められている。①の「女性の健康づ {くり」の対象は子育て中の女性であるの で、保育付きを継続。若い世代が参加する	平成23年度	レット) 賄材料费・臨時	平成23年度		
10-02-04		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	②  †粗しょう症予防について医師か   内容   ら講演 (骨粗しょう症予防講演会)   ③  †粗しょう症検診受診時の健康教	址碑俱云参加 者数	①20②30 4 ③162 7	られそうなこと があったという	①20②25 れる ③162 がる	そうなこと あったとい	①100②83 ③100	90.4	0.41	4.4-	ことにより、健康増進の効果が高まると考える。また 更年期からの女性では②の	00				
	女性の健康づくり事	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)	育・相談	回月性 レよフ	(人)	感想をアンケー トに記載する市 民の数	(人) たi	感想をもっ		204	241	445	健康の維持・増進とともに介護予防につな					
	業		■ 直営(委託無) □ 全部委託	「女性ホルモンと身体の変化」につ	加者数	平成22年度	~\*/ <i>9</i> X	平成22年度	川日 奴	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	がる。今後平均寿命の延長に伴い、女性の 「ライフサイクルに応じた事業展開として重 要である。	平成22年度		平成22年度		
		事業 形態	□ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 いて正しい知識を得る。女性のライフサイクルにあった健康づくりに取		①10②39		①10②29		1100274	626	223	849		417				
			□ その他( )	り組むきっかけづくりになる。		(人)		(人)		( % )	626	223	849	<u></u>	417				

政策名 健康で幸せにすごせるまち		施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進	
------------------	--	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------	--

	所管課係名				対象指	行標	活動指	標	成果指					事務事業全体			一般財	源分	
事務事業	所管課長名		事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値	指標化)	(手段の数値		(意図したこと) 数値指標			人件費 理論値)	トータルコスト		特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+2	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	(26年度に向けた 方向性等)
			<del>-</del>			(単位)		(単位)		(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	彩明欄, 東京都与托塔 <b>叫</b>	(千円)	及びその理由等	3X 00 HB .
	健康課保健サービス係		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的 健康増進法	健康づくりを推進するための関係機 対象 関・団体・市民代表からなる15名		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度 平	成24年度 平	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:東京都包括補助 市1/2の負担割合 〈事業費〉委員謝金	平成24年度	降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:
	健康課長		東久留米市健康づくり推進協議会設置要綱	の委員	-	2		2		100	211	185	396	必要性   4   有効性   4   達成度   4   効率性   4   説明欄:委員は、医師会、歯科医師会、薬	106	※平成24年度より補助 金対象となっている		<b>必要性</b> 4 <b>有効性</b> 4 <b>達成度</b> 4 <b>効率性</b> 4 説明欄:市の健康増進計画「わくわく健康	
	原田 祐子	<del>-</del>				平成23年度		平成23年度		( % )	To other or other or	stoot at 3	T ====================================	剤師会、保健所の他、地域の健康づくりに 関連する組織と一般市民から構成され、健 康課事業と健康づくり計画の調整・協議を	T stook str	並がある。なっている	平成23年度	プラン」推進における進行管理をする協議 会として機能を果たす。 (平成23年度まで)	
10-02-05	;	財源	 	手段   年2回開催   主にわくわく健康プラン東くるめの   内容   推進についての協議	年度で協議し		課題が協議され	課是	題が協議さ 合意を得た	100		- 灰25平及「1	十灰23千茂	行っている。効果的な事業展開について、 積極的な意見や協力が得られており、今後			十成25年及		
			□ 市独自上乗せ(上乗・横出)	-	た数	(回)	合意を得た数	割台 (件)		( % )	221	206	427	,も地域で健康づくりを推進するために必要である。			221		
	健康づくり推進協議 会事業		■ 直営(委託無) □ 全部委託		1	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度 平	成22年度 平	平成22年度		平成22年度		平成22年度		
		事業 形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	・市民の健康づくりの啓発及び各種 事業の推進、健康づくり計画の調 整・協議		2		2		100	222	-							
			□ その他( )	注:"例如秋		(回)		(件)		( % )	222	302	524				222		
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	- <b>対象</b> 市民		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度 平	成24年度 平	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄: 健康増進費補助金(基準額の1/3市負担及び基準	平成24年度	25年度以 26年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
	保健サービス係	根拠	(国)健康増進法 (市)健康増進計画		-	69		60		95	582	535	1,117	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 3 説明欄:生活習慣病予防に関する知識を伝	194	額超過分が市負担) ・人件費(各講座:栄養		必要性         有効性         達成度         効率性           説明欄:	
	健康課長原田 祐子	等		・テーマ別で年3回実施		(人)		(人)	ri Ser III les de	( % )				え、実践することでいきいきと暮らすこと に繋がるため必要性としては高い。		士2名、事務1名、保育士 1名、各調理実習:栄養 士4名、事務1名、保育士		以 ヴ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
10.00.00		n.v.		手段 ・糖尿、脂質異常、高血圧の予防に関する病態別講座と調理実習を実施・自主グループなど地域活動を紹介	生活習慣病予	平成23年度	□ ** *********************************		防の知識が	平成23年度	平成23年度 平	成23年度 平	平成23年度	参加者が生活習慣改善に取り組めるよう に、実践できるような具体的内容を伝えて おり、最後にシートに目標を設定、参加者	平成23年度	1名)参加者の個別評価 の実施。 ・消耗品	平成23年度		
10-02-06		-	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	内容 することで、健康づくりの継続を促す。	持っている市 民 (申込者)	(人)	受講者数	<sup>122</sup>  アン	シケートで えた者の割	( % )	503	580	1,083	が自分でチェックできるようにしている。 生活習慣改善につながっており有効性、達	168	(パンフレット等、調理 衛生用品購入費など)			
	健康セミナー事業		■ 直営(委託無) □ 全部委託		_	平成22年度		平成22年度			平成22年度 平	成22年度 平	平成22年度	成度ともに高い。 今後も、参加者数を増やすような教室周知 を行い、青壮年期世代から生活習慣病予防	平成22年度	・賄材料費 (雑入)調理実習参加費	平成22年度		
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	市民が生活習慣病予防について正し 意図 い知識を持つことで、一次予防とし		131		110		84				について気をつけてもらえるように働きかけていくことで、医療費及び介護サービス 費抑制を目指す。		(@500円*参加者数60 人)を充当している。			
		11712	□ その他( )	ての健康づくりの支援を行う。		(人)		(人)		( % )	795	644	1,439	APPRICATE ATA 7 0	556				
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	対象 公立中学校生徒		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度 平	成24年度 平	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	説明欄:
	予防係		麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締 法、あへん取締法、大麻取締法、薬事法	NA ALTTRIK		2,787		1,408		50.5	30	288	318	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4			30	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
	健康課長 原田 祐子	等				(人)		(点)		( % )				説明欄:中学生が薬物によるさまざまな害  を認識する機会を作ることにより、薬物乱  用を防ぐことを目的としている。引き続				説明欄:中学生が薬物によるさまざまな害を認識する機会を作ることにより、薬物乱 用を防ぐことを目的としている。引き続	
				手段 市内公立中学校に薬物に関してのポスター・標語を募集し、表彰を行う。地区協議会指導員により中学生		平成23年度	ポスター・標語	平成23年度		· // · / 🗻		成23年度 平	平成23年度	き、講演会等の開催により中学生や保護者 に対する啓発につとめ、薬物乱用の根絶を 目指す。	平成23年度		平成23年度	き、講演会等の開催により中学生や保護者 に対する啓発につとめ、薬物乱用の根絶を 目指す。	
10-02-07				内容 う。地区協議会指導員により中学生 に対する啓発のための講演を行う。	徒数	2,788	ボスダー・標語 の応募数		スター • 標 の応募率		30	283	313	その他収入として、東京都知事より委嘱 された東久留米地区協議会推進員が行って	1		30	その他収入として、東京都知事より委嘱 された東久留米地区協議会推進員が行って	
	薬物乱用防止推進事 業	上来	□ 市独自上乗せ(上乗・横出) □ 直営(委託無) □ 全部委託		1	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度 平	成22年度 3		いる事業である。東京都薬物乱用推進協議 会から東久留米地区協議会への助成金13 万円、委託料3万円あり。			平成22年度	いる事業である。東京都薬物乱用推進協議 会から東久留米地区協議会への助成金13 万円、委託料3万円あり。	
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	薬物を使用することにより、肉体及 意図 び精神へ悪影響を与えることの等を		2,726		896		32.9	T MALE TOO		T MEE T A	薬物乱用防止に関するポスターの表彰状 の筆耕料として、3万円を計上している。	T MALE 1 IX		1 MEE 1 M	薬物乱用防止に関するポスターの表彰状 の筆耕料として、3万円を計上している。	
		no æ	■ その他(都→地区協へ委託料あり)	周知する。		(人)		(点)		( % )	30	283	313				30		
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	₩ <b>6</b> ±₽		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度 平	成24年度 平	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄: 東京都包括補助 市1/	平成24年度	25年度以 26年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
	保健サービス係	根拠	健康増進法第八条 健康増進計画「わくわく健康プラン東くる	- 対象   市民		1,327		1,097		83	3,215	7,853	11,068	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	1 607	2 の負担割合 〈 事業費〉 ・嘱託保健師報酬		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等	   M	①既存の健康に関する取り組みの推進②お		(人)		(人)		( % )	0,210	.,000	11,000	説明欄:東久留米市健康増進計画8年目になり、プランに沿って7つの生活習慣の活動を健康づくり推進員(市民)とともに展		・講師謝金 ・事務賃金 ・消耗品事務費		説明欄:	
				宝プ シ推進 (「禁煙キャラバンわくわく」 手段 「わくわく健診応援隊」「心の元気プロ ジェクト」「わくわく健康サロン」「わく	1	平成23年度	部会、打ち合わ	平成23年度	会、打ち合		平成23年度 平	成23年度	平成23年度	開しており、着実に地域の中に健康づくり の輪が広がってきている。10年計画の最	平成23年度	<ul><li>ウォーキングマップ等 印刷製本</li></ul>	平成23年度		
10-02-08			□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容   ウェクト」「わくわく呼ばサロン」「わく 内容   博士になろう」「わくわくウォーク」)③ 広報活動	かせ会部員数 かせ会部員数	1,840	せ会での参加者 数	1,599 わせ加者	せ会への参 者率		2,084	7,982	10,066	終期の第Ⅳ期に入るが、今後も市民と協働 の取り組みとして、更に計画を推進してい く必要がある。		<ul><li>・試作等賄い材料費</li><li>・切手等通信運搬費</li></ul>			
	わくわく健康プラン 推進事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		-	(人)		(人)		( % )	TI #100 77 #1	rttoo & the	W # 00 # =	_	w choo to the		TI chooke ch		
		事業	■ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助・助成金	市民一人一人が、生き生きと幸せに 意図 暮らせるように、健康で明るく活気		平成22年度		平成22年度			平成22年度 平	·成22年度 平	平成22年度		平成22年度		平成22年度		
		形態	□ 一部安託 □ 補助・助成金 □ その他( )		'	(人)		1,810		91	5,228	8,917	14,145		1,265				
			_ , ,			\ \ \ \ \ \ \				( /0 /					1				

政策名	健康で幸せにすごせるまち	施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進	基本事業番号・名	10-02	健康づくりの推進

	所管課係名					対象排	1標	活動指	標	成果排					事務事業全体			一般財	<b>計源分</b>	
事務事業	所管課長名		事務事業の概要		事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと 数値指		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト		特定	対源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		(根拠法令等、財源、上乗、刑	杉態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+(2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	(26年度に向けた 方向性等)
	争仿争未有					拍標	(単位)	拍標	(単位)	担保	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	争未其仍似安矶叻	(千円)	及びその理由等	
	健康課		□ 自主的 ■ 義務的 □		特定健診の結果メタボリックシンドロームのリ スクが高く、動機づけ支援または積		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 協方向性 拡大 26年度以 協方向性 拡大 路方向性 拡大	平成24年度	説明欄: 国民健康保険特別会計 (法定繰入なし)	平成24年度	25年度以 降方向性 路方向性	説明欄:
	特定健診係	根拠	高齢者の医療の確保に関する注	法律 (国)	対象 を	ł	1,091		251		23.1	7.913	5,225	13,138	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3		(伝足梾八なし)		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等			対象者には個別通知		(人)		(人)		( % )	7,010	0,220	10,100	ご説明欄:ブロボーサブルで特定保健指導委託業者を選定 し2社に委託。積極的支援は一部直営。利用者負担 無。生活習慣病予防の特定保健指導実施は保険者に				説明欄:	
					メタボリックシンドロームのリスク により、動機づけ支援または積極的 支援に分かれ、生活習慣改善のため	動機づけ支援	平成23年度		平成23年度			平成23年度	平成23年度	平成23年度	美容べけられている 独定保健投道宝装窓の日煙値	平成23年度		平成23年度		
10-02-09		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有	□ 市全額	内容 の指導を6か月間実施。直営と2社に 委託して実施。	または積極的支援と判定された者の人数	1,060	特定保健指導利 用者数	305	特定保健指導 利用率	28.8	7,850	5,663	13,513	で、保健指導実施率は向上しているが目標に到達し ていない。今後も事業拡大しながら継続が必要。健					
	特定保健指導事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			40に有の人数	(人)		(人)		( % )	1,000	-,,,,,	,	おお来を比較すると、床延相等の木利用有より利用 者の方が検査数値に改善がみられ、実施効果がある。					
	IN ACTIVICITY TO		□ 直営(委託無) □ 全部委	<b>季託</b>	メタボリックシンドロームや予備群を選び出		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	特定保健指導委託費(東久留米市i医師会)動機づけ支援、(ベネフィットワン・ヘルスケア)積極的 支援、動機づけ支援利用券郵送の通信運搬費。利用	平成22年度		平成22年度		
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助・」	助成金	意図 し、生活習慣改善のための指導を行い、生活習慣病を予防する		1,216		333		27.5	8,182	6,292	14,474	券封入作業事務賃金 財源:保険料、(国・都補助)特定健診等負担金					
			□ その他(	)			(人)		(人)		( % )	0,102	0,202	11,111	4 (基準額の1/3及び基準額超過分が市負担。24年度 5,449千円、23年度5,567千円、22年度6,073千円)					
	健康課		□ 自主的 ■ 義務的 □		対象 加入者	ī	平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 拡大 26年度以 降方向性 拡大	平成24年度	説明欄:  国民健康保険特別会計   (法定繰入なし)	平成24年度	25年度以   26年度以	説明欄:
	特定健診係	根拠	高齢者の医療の確保に関する注	法律 (国)	加人者		24,327		11,924		49.0	139,572	5.616	145,188	<u>必要性</u> 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3		(仏座株八なじ)		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等			メタボリックシンドローム予防のための健診とし		(人)		(人)		( % )		-,-		「説明欄:市内指定医療機関にて健診実施。 対象者全員に受診券等を郵送。誕生月毎に 「健診実施月を分け、6~10月に市内指定				説明欄:	
					て、対象者には個別通知をし市内指定医療機関にて 個別健診実施。 健診内容は高齢者医療確保法に基づき実施。	40~74歳の東	平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	E 医療機関にて個別健診実施。自己負担金 無。生活習慣病予防のための特定健診実施	平成23年度		平成23年度		
10-02-10		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有	□市全額	一	健康保険加入	24,585	受診者数	11,532	受診率	46.9	112,042	6,087	118.129	は保険者に義務づけられている。特定健診 実施率の目標値は平成24年度65%だが、目 標に到達していないので、今後も事業拡大					
	特定健康診査事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		と判断した方)	者数	(人)		(人)		( % )	,	-,		「標に到達していないので、今後も事業拡大しながら継続が必要。受診率向上を図るたーめ、平成22年度より、前年度未受診者に対					
	TO COMMO III 7 NO		□ 直営(委託無) □ 全部委	<b>季託</b>			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	t して電話による受診勧奨を実施中。 財源:保険料、(国・都補助)特定健診等	平成22年度		平成22年度		
		事業形態	■ 一部委託 □ 補助・」	助成金	意図 メタボ・リックシント、ロームや予備群を早期に発見し生活習慣病を予防する。	i	24,523		11,791		48.1	115,092	6.763	121.855	負担金(基準額の1/3及び基準額超過分が 市負担。平成24年度96,114千円、23年度 79,879千円、22年度85,431千円)					
			□ その他(	)			(人)		(人)		( % )		-,,,,,							
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■	努力義務的	- <b>対象</b> 市民		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:	平成24年度	25年度以 降方向性 26年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
	保健サービス係		自殺対策基本法 東京都地域自殺対策緊急強化3 地域自殺対策緊急強化事業区7				87		144		100	594	679	1,273	<b>必要性</b> 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3				必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等	(東久留米市)				(人)		(人)		( % )				説明欄:自殺者数が多い青・壮年期世代等 への自殺予防普及啓発として講座・講演会 一を開催。医師会及び精神科専門医に講師を				説明欄:	
					手段 ①心のヘルスサポーター講座および 講演会の開催		平成23年度		平成23年度	参加により、		平成23年度	平成23年度	平成23年度	<ul><li>担当していただき、参加者にとって地域の 自殺予防の取り組みについて学ぶ場とな</li></ul>	平成23年度		平成23年度		
10-02-11		財源	■ 全額補助 □ 一部補助有	□ 市全額	内容 ②自殺予防普及啓発パネル展示およびリーフレット配布	講座申込券(実)	①89 ②42	講座参加者数 (延べ)	242	心の健康づく りの理解が深 まった者の率		793	549	1,342	り、市民と共に自殺予防対策について勧め ていく基盤ができつつある。地域の身近な					
	自殺予防普及啓発事	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				( )		( )	まりた有の学	( )			,-	「人による取り組みが重要であるので今後も サポーターが増えるよう事業を継続してい - く必要がある。					
	来		■ 直営(委託無) □ 全部委	<b>季託</b>	自殺者数が多い青・壮年期世代を中	,	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	<ul><li>財源:東京都地域自殺対策緊急強化交付金事業(補助率10/10)事業費:医師謝金、消</li></ul>	平成22年度		平成22年度		
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助・	助成金	意図									0	耗品費(資料作成)印刷製本費(リーフレット印刷)事務賃金。25年度も継続					
			□ その他(	)			( )		( )		( )						5X III 488			5X 00 188
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■	努力義務的	対象 がん検診の結果「要精密」と判定された市民		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持 降方向性	平成24年度	説明欄: 包括事業補助金(基準額 の1/2及び基準額超過	平成24年度	25年度以   26年度以	説明欄:
		根拠	がん検診予防重点健康教育及び 施のための指針(国)	いかん梗影実	AUCIFIC	_	1,424		961		64	103	411	514	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	52	分が市の負担)		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等			①医師会依頼がん検診(大腸・肺・子宮)は、各医療機関で精検受診状況を把握し市へ報告。未受診・	5	(人)		(人)	T 姓 少 士 云 平	( % )				<ul><li>説明欄:精検未受診者をより少なくする必要がある。要精密者に対してその後精密検査を受診したかどうか郵送や電話で状況を</li></ul>				説明欄:	
					手段 結果不明者ヘフォロー実施している。②外部医療機関委託がん検診 (胃・乳) は、結果通知と精検につ	がん検診の結	平成23年度	がん検診の結果 「要精密」と判	平成23年度	要精密者受診 率(精密検査 受診者数/が	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	₹ 把握している。未受診の場合などは受診勧 奨を行い、精密検査へとつなげている。実	平成23年度		平成23年度		
10-02-12			□ 全額補助 ■ 一部補助有	□ 市全額	内容 古きと大腸がん検診を同時実施したため大腸がん検診 の受診者の増加に伴って要精密者もフォローも実	米「安有省」	464	定された者の 内、フォローが	408	ん検診の結果 「要精密」と		37	446	483	施医療機関においても、精密検診者の受診 の必要性について周知の徹底を図る。事業 費は、精密検査対象者へ受診状況の確認を	21				
	がん検診フォロー事	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		施。		(人)	必要な者の数	(人)	刊定された者 の数)	( % )				「質は、精密検査対象者へ受診状況の確認を 行うための通信運搬費で、直営で実施して −いるため報償費等の人件費はかからない。					
	米		■ 直営(委託無) □ 全部委	委託	必要な精密検査を受診できる。がん	,	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度		
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助・	助成金	意図 を早期に発見し、適正医療を受ける。		464		380		82	44	496	540		28				
			□ その他(	)			(人)		(人)		( % )									

政策名 健康で幸せにすごせるまち		施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進	
------------------	--	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------	--

	所管課係名			対象指	<b>5標</b>	活動指	標	成果指					事務事業全	体					一般財	源分		
事務事業	所管課長名	事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと 数値指		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)						特定	別源に伴う一般財源		一般財	源	全庁評価会議
番号	事務事業名	(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+2)	事務	事業の方向 及びその	性、項目別記 )理由等	评価	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の	方向性、項目別評価	(26年度に向けた 方向性等)
	チがチズゼ			Ларж	(単位)	10.0%	(単位)	100%	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)					(千円)		(千円)		その理由等 	
	健康課	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	対象 40歳以上の市民		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性		26年度以 降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄:市町村総合交付 金を活用 雑入(自己負担金)500		25年度以 降方向性	26年度以 降方向性	説明欄:
	特定健診係	がん対策推進基本計画(国) 根拠 健康増進法(国) がん検診実施要綱(市)			38,693		1,025		2.6	4,062	905	4,967			達成度 3		1,629	円×1,024人=512,000円 を充当している。		必要性有効性	達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等		平成22年度か	(人)		(人)		( % )						はる胃部レン がんが発見					説明欄:		
			手段 ・ 問診・胃部エックス線検査の実施	ら、対象人口 率 57.8% に変			平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	自己負担金	500円。			平成23年度		平成23年度			
10-02-13		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容	対象者数(対	38,222	受診者	1,047	受診率	2.7	4,152	981	5,133	;				2,250					
	胃がん検診事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)		象 人 口 率 -58.3%)			(人)		( % )				-									
		■ 直営(委託無) □ 全部委託	寛図 間がんの早期発見、早期治療に結び		平成22年度		平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度	-				平成22年度		平成22年度			
		אַכּוו	意図 つける。		37,632		1,088		2.9	4,314	1,090	5,404	:				1,433					
		□ その他( ) □ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的			平成24年度		平成24年度		( % )	平成24年度	TI CTO A CE DE	TI POACE OF	25年度以	1114444	26年度以	114444	T = 0.4 = ==	説明欄:後期高齢者医療	亚中04年 库	25年度以	26年度以	説明欄:
	健康課 特定健診係	高齢者の医療の確保に関する法律(国)	後期高齢者医療被保険者 対象 (75歳以上の方、65歳以上で一定の 障害がある方)		12,148		7,000		57.6	千成24年及	平成24年及	平成24年及	阵万미注	現状維持		現状維持 効率性 3		特別会計 健康診査費繰入金	平成24年度	降方向性 必要性 有効性	降方向性 達成度 効率性	_
	健康課長	法令等		1	(人)		(人)		( % )	73,288	5,616	78,904	説明欄:				31,918			説明欄:		
	原田 祐子		対象者には個別通知 <b>手段</b> 市内指定医療機関にて個別健診実施		平成23年度		平成23年度			平成23年度	平成23年度	平成23年度		定医療機関	域連合より 別にて健診実 『送。誕生月	<b> レ施。対象</b>	平成23年度		平成23年度			
10-02-14		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	・ 問診、身体計測、診察、血圧、血液 内容 検査(血糖、脂質、肝機能、貧血	後期高齢者医		受診者数	6,433	受診率	56.3				実施月を分 関にて個別	け、6~10 健診実施。	)月に市内指 東京都後期	旨定医療機 明高齢者広						
	2// 48t1 nin th\ nt fata pin 40\ nt	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	等)、尿検査、心電図	療被保険者数	(人)		(人)		( % )	44,938	6,087	51,025	4Xo		、日己須担:		20,107					
	後期高齢者健康診査 事業	□ 直営(委託無) □ 全部委託		1	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	維持しておのためには		)早期発見・ 記実施が必要		平成22年度		平成22年度			
		事業 ■ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 病気の早期発見、治療を行う。		10,639		5,971		56.1					康診査費受	託事業収入	.10/10						
		□ その他( )			(人)		(人)		( % )	42,676	6,763	49,439					19,628					
	健康課	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	対象 和暦偶数年生まれの20歳以上の女性		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性	現状維持	26年度以 降方向性	現状維持	平成24年度		平成24年度	25年度以 降方向性	26年度以 降方向性	説明欄:
	特定健診係	がん対策推進基本計画(国) 根拠 健康増進法(国) 法令 がん検診実施要綱(市)	<b>対象</b> 和層		32,250		1,097		7.6	6,298	802	7,100		有効性 4	達成度 3	効率性 3	3 561	雑入 (自己負担金) 1,000 円 × 1,087 人 =1,087,000円を充当して		必要性 有効性	達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等		平成22年度か	(人)		(人)		( % )	0,200	002	1,100	説明欄:東ている。市	内に婦人科	E師会に検診 斗が少ないの ハため、個別	りが課題。	5,501	いる。		説明欄:		
			手段問診・視診・内診・	ら、対象人口 率 67.1% に変	平成23年度			受診率((前年 度受診者+今		平成23年度	平成23年度	平成23年度	- 174 - 74	NO 1 11 PORT		1 100 > 0 1	平成23年度		平成23年度			
10-02-15		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	<b>内容</b> 子宮頚部の細胞診の実施	更。 対象者数 (対	32,304	受診者	1,381	年度受診者-2 年連続受診者) ÷今年度対象	7.3	7,719	870	8,589					4,592					
	子宮がん検診事業	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)		象人口率				者数×100)	( % )													
		□ 直営(委託無) □ 全部委託	スウボルの目物窓目 目物治療には		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	: -				平成22年度		平成22年度			
			意図 子宮がんの早期発見、早期治療に結びつける。		32,210		1,032		6.4	5,869	967	6,836					1,949					
		□ その他( )			(人)		(人)		( % )				25年度以		26年度以	77 I b 4# 4+		説明欄:市町村総合交付 金を活力(白コムヤム)		25年度以	26年度以	説明欄:
	健康課 特定健診係	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的  がん対策推進基本計画 (国)	対象 和暦偶数年生まれの40歳以上の女性		平成24年度		平成24年度			平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性				平成24年度	稚八 (日口貝担金)		1 1	降方向性	_
	健康課長	根拠 健康増進法(国) 法令 がん検診実施要綱(市)		1	25,430		815		6.6	3,898	1,214	5,112	説明欄:清	 瀬の複十字	   	タラック タップ タップ タップ タップ タップ ション ション ション ション アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	2,340	1,000円×809人=809,000 円を充当している。		必要性     有効性       説明欄:	達成度 効率性	_
	原田 祐子	4	7 CD. 00-50. AD 64-60.	平成22年度から、対象人口			(人)	受診率((前年	( % )	W rthoo fer pie	w choose de	W 1200/E 15	内には国の	基準を満た	フィーによる こすマンモク Black いっか	ブラフィー	TI chooks de		亚虎の左座			
10-02-16		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	<ul><li>手段 問診・視触診・</li><li>マンモグラフィ検診(乳房エックス内容)線検査)の実施</li></ul>	ラ、 対象八日 率73.1%に変 更。	平成23年度 25,137	受診者		度受診者+今		十成23年度	<b>→</b> 灰23年度	十成23年度	検診のでき が例年5つの 自己負担金	)がん検診			十成23年度		平成23年度			
1.5 02 10		上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)		対象者数(対象 人口率		~ W H	1	平度支影有 - 2 年連続受診者) ÷ 今 年 度 対 象 者数×100)	( % )	4,264	1,316	5,580					2,336					
	乳がん検診事業	□ 直営(委託無) □ 全部委託		67. 1%)	平成22年度		平成22年度	₩ 29A 100/		平成22年度	平成22年度	平成22年度					平成22年度		平成22年度			
			意図 乳がんの早期発見、早期治療に結び つける。	3	24,794		978		7.4				-									
		形態 □ その他( )	اه و راد-		(人)		(人)		( % )		1,462	6,032					1,518					
	<u> </u>			L														<u> </u>	L			

政策名 健康で幸せにすごせるまち		施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進	
------------------	--	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------	--

	所管課係名				対象指	標	活動指	標	成果指					事務事業全体			一般財	排分		
事務事業	所管課長名		事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値	指標化)	(手段の数値		意図したことの 数値指標			人件費 (理論値)	トータルコスト		特定	財源に伴う一般財源		一般財源		全庁評価会議
番号	市政市業々		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	+6+=	実績値	15+面	実績値	+b+==	実績値	1	2	1)+2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額)	古業典の極声説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項	目別評価	· (26年度に向けた 方向性等)
	事務事業名				指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	事業費の概要説明	(千円)	及びその理由		
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	- 対象 40歳以上の市民		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度		平成24年度	25年度以 降方向性 26年 降方		説明欄:
	特定健診係	根拠	がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国)	7   40 歳以上の旧氏		43,178		533		1.2	3,535	864	4.399	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	9 909	雑入(レントゲン撮影の み自己負担金)1,500円 ×434人=651,000円を充		必要性 有効性 達成/	数率性	
	健康課長 原田 祐子	等	がん検診実施要綱(市)		亚 よっっ 矢 座 ふ	(人)		(人)		( % )	5,555	004	4,555	説明欄:東久留米市医師会に検診を委託。 肺がん検診実施後に、読影会開催してお	2,203	当している。 雑入 (レントゲン撮影		説明欄:		
				手段 問診・ 胸部 X 線検査 (全員)	平成22年度か ら、対象人口 率64.5%に変	平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	り、近年パソコンによるレントゲンフィル ムを管理する医療機関が増えている。 自己負担金	平成23年度	と喀痰自己負担金) 2,000円×82人=164,000	平成23年度			
10-02-17		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容 喀痰細胞診検査 (医師が必要と認めた者のみ) の実施	更。	42,652	受診者	694 受彰	<b>沙</b> 率	1.6	4,778	937	5.715	レントゲン撮影のみ1,500円 咳痰細胞診追加2,000円	3,051	円を充当している。				
	性水 / 检验事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		対象者数(対象 人口率 - 57.4%)			(人)		( % )	4,776	991	5,715		5,051					
	肺がん検診事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度			
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 肺がんの早期発見、早期治療に結び つける。		41,994		890		2.1	5,835	1,041	6.876		1,938					
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )	5,055	1,041	0,076		1,956					
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	- 対象 40歳以上の市民		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 協方向性 拡大 26年度以 協方向性 現状維持	平成24年度		平成24年度	25年度以 降方向性 26年 降方		説明欄:
	特定健診係	根拠	がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国)	- 内家 40歳以上の市氏		41,504		14,466		34.9	7,379	403	7,782	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4	10.000	雑入(自己負担金)500 円×14,223人=7,111,500 円を充当している。		必要性 有効性 達成	効率性	
	健康課長 原田 祐子	等	がん検診実施要綱(市)		亚 よっっ 矢 座 ふ	(人)		(人)		( % )	1,515	403	1,102	説明欄: 東八留米市即会に検診を会託して  いる。便潜血検査 (二日法) で実施。毎	10,003	1,2,2,3,0,0,0		説明欄:		
				手段   一・ 便潜血検査(2日法)の実施	平成22年度か ら、対象人口 率62.0%に変	平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	年、がん発見率の高い検診。 受診率の向上を図るため、24年度から特 定健康診査・後期高齢者健診等の健診と同	平成23年度		平成23年度			
10-02-18		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容	更。	40,999	受診者	1,174 受影	<b>沙</b> 率	2.9	3,452	437	3,889	時実施したことにより34.9%の高い受 診率となった。	2,594					
	大腸がん検診事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		対象者数(対象 人口率			(人)		( % )	5,452	457	5,009	自己負担金500円。(23年度までは1,000円)	2,334					
	八勝5.70 灰砂手木		□ 直営(委託無) □ 全部委託		00.1707	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度			
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 大腸がんの早期発見、早期治療に結びつける。		40,366		1,352		3.3	3,985	486	4,471		1,324					
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )	9,000	400	,		1,324					
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	20、25、30、35、40、45、50、55、   60、65歳の女性		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:20歳、25歳、30 歳、35歳は(都)医療包 括事業補助金(基準額の	平成24年度	25年度以 降方向性 26年 降方		説明欄:
	特定健診係		健康増進法(国) 骨粗しょう症検診実施要綱(市)	60、65歳の女性		7,468		158		2.1	206	428	634	<u>必要性</u> 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4	158	1/2が市の負担)。市町村 総合交付金も活用。雑入		必要性 有効性 達成	効率性	
	健康課長 原田 祐子	等				(人)				( % )	200	120	001	説明欄: わくわく健康プラザにて検診車を 用いて実施している。平成21年度より、当	160	(自己負担金) 500円× 157人=78,500円を充当		説明欄:		
				手段 8月に広報で募集 はがきで申し込み わくわく健康プラザにて問診、骨密	1	平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度		日に結果を渡すことでコストを削減。受診 後、検診結果が出るまでの間に、栄養士、 保健師の健康教育を実施。要精密検査と判	平成23年度	している	平成23年度			
10-02-19		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容 度測定。結果を医師が判定し、当日 渡す。	対象者	6,900	受診者数	162 受彰	<b>沙</b> 率	2.3	225	464	689	定された方へは、更に栄養士、保健師によ る個別相談を行っている。若年層の受診率	181					
	骨粗しょう症(節目)	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(人)		( % )	220	101	003	向上が課題である。 自己負担金500円。 -受診率は低いが、若いうちから受診しても	101					
	検診事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	マルデはないが、石いりらがら文形しても らうことで、健康意識が高まるため、継続 が必要である。	平成22年度		平成22年度			
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 早期発見と骨粗しょう症の予防		7,108		151		2.1	189	516	705		63					
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )								, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	- 対象 市民40~70歳の節目(5歳刻み)男女		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:45歳、55歳、65 歳は包括事業補助金(基 準額の1/2及び基準額の	平成24年度	25年度以 降方向性 26年 降方		説明欄:
		根拠	健康增進法(国) 成人歯科検診実施要綱(市)	アンカー ロン・マー・マー・マー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー		11,559		719		6.2	5,862	403	6 265	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3		準額の1/2及の基準額の 超過分が市の負担)40 歳、50歳、60歳、70歳は		必要性 有効性 達成	効率性	
	健康課長 原田 祐子	等				(人)		(人)		( % )	5,002	100	0,200	説明欄:東久留米市歯科医師会に委託。歯と歯ぐきの診断をし、予防のための検診をとなる。 個別執続をエエリを診察をしばるの		健康診査費補助金(基準 額の1/3及び基準額超過		説明欄:		
				手段 - 問診:歯と歯ぐきの診断		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度		実施。個別勧奨を工夫し受診率を上げる必要がある。 自己負担金500円。		分が市の負担) 雑入(自己負担金)500 円×715人=357,500円を	平成23年度			
10-02-20		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	1 1	対象者	11,000 5	受診者	742 受影	<b>沙</b> 率	6.7	5,979	437	6,416		4,179	カペパラス-557,500円を 充当している。				
	成人歯科健診(節	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(人)		( % )	0,010	101	0,410		7,179					
	目)事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度			
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 市民の歯と歯ぐきの健康の為		10,754		751		7.0	6,216	486	6,702		4,097					
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )	0,210	400	0,702		4,097					

政策名	健康で幸せにすごせるまち		施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進
-----	--------------	--	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------

	所管課係名				対象指	:煙	活動指		成果指標					事務事業全体			一般財源分	
事務事業	所管課長名		事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		意図したことの 数値指標の		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータルコスト	,	特定	財源に伴う一般財源	一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値	1	2	1)+2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) 事務事業の方向性、項目別評価	(26年度に向けた 方向性等)
	<b>ナ</b> カチスロ				11 1/4	(単位)	111 124	(単位)	10  1	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	7-7-5-10 (MX DE 1)	(千円) 及びその理由等	
	健康課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	- 対象 市内の犬		平成24年度		平成24年度	3	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:事業費について は、交付手数料の歳入に より、実施。	平成24年度 25年度以 現状維持 26年度以 限方向性 現状維持	説明欄:
	予防係	根拠	狂犬病予防法 	7.5%		5,177		3,947		76	2,422	823	3,245	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	0	より、大旭。	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
	健康課長 原田 祐子	等				(頭)		(頭)		( % )	-,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<ul><li>説明欄:狂犬病予防法に基づき実施している事業。</li><li>■ 集合注射だけでなく、市内および近隣市</li></ul>			説明欄: 狂犬病予防法に基づき実施している事業。 集合注射だけでなく、市内および近隣市	
				健康課で登録、再交付、転入等変更 手段 届の手続きが出来る。獣医師に注射 ・ 済票等交付手続きを一部委託。4月		平成23年度		平成23年度	L	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	で の動物病院でも狂犬病予防注射済票の交付 か可能であり、手続きしやすい環境が整っ	平成23年度		平成23年度 の動物病院でも狂犬病予防注射済票の交付か可能であり、手続きしやすい環境が整っ	
10-02-21		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容 には市内5箇所で集合注射をしてい	, 狂犬病予防接種頭数	5,146	任犬病予防接種 率	3,978 程率	:病予防接	77	1,594	943	2,537	ている。それらを周知し、個別通知・督仮 状の発送なども行いながら、接種率の向上	0		ている。それらを周知し、個別通知・督促 状の発送なども行いながら、接種率の向上	
	犬の登録及び狂犬病	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(頭)		(頭)		( % )	,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	「につとめていく。犬の登録及び狂犬病予防 注射済票の交付手数料の歳入により実施。 -			1,554 につとめていく。犬の登録及び狂犬病予防 注射済票の交付手数料の歳入により実施。	
	予防注射事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	度	平成22年度		平成22年度	
		事業形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意図 犬の適切な管理により、狂犬病の発生を防ぎ、市民の健康を守る。	i	5,095		3,918		77	2.099	943	3,042	2	0		2,099	
			□ その他( )			(頭)		(頭)		( % )			-,,,,,,				, in the second	
	健康課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	東久留米市に住所を有する者で、各予防接 種において定められている年齢にある者	5	平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	度 25年度以 拡大 26年度以 現状維持 降方向性 拡大	平成24年度	説明欄:	25年度以 平成24年度 降方向性 降方向性	説明欄:
	予防係	根拠法令	予防接種法	種において定められている牛齢にある者		15,724		17,161		108	143,384	10.952	154,336	6 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	11,607		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等				(人)		(人)		( % )	,,,,	-,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<ul><li>説明欄:予防接種法に基づき実施。集団接種時の予助接種の案内の配布や、予防接種ごとに必要な時期 一を見て個別通知を送付することなどにより、接種率</li></ul>			説明欄:	
				手段 予防接種法に基づき、四種混合、三種混合、二種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	<ul><li>は高い水準を維持している。また、東久留米市内たけでなく近隣4市の予防接種実施医療機関での接着も可能としており、接種しやすい環境が整えられて</li></ul>	平成23年度		平成23年度	
10-02-22		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内容 対象者に標準接種時期に個別通知を送付。	対象者数	15,910	接種者数	15,693 接種	率	99	128,686	5.324	134,010	いることも高い接種率を維持できている要因と考えられる。	79,121			
	予防接種事業(一類	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(人)		( % )	,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	常に求められる事業のため、それに対応できる体制 を維持する必要がある。25年度からA類疾病。①子	i			
	疾病)		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成22年度		平成22年度	3	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	度 宮頸がん予防ワクチン②ヒブワクチン③小児用肺炎 球菌ワクチンの事業が加わる。定期予防接種は、地 方交付税措置により接種費用の2割から3割程度か	平成22年度		平成22年度	
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 予防接種の普及促進を図り伝染病の 発生及びまん延を予防する。		15,116		14,037		93		13,191	125,185	交付される。 5	83,581			
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )						555 HT 188		537 ULI 188
	健康課予防係		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的	- 対象 65歳以上及び60歳以上65歳未満で、心臓や 腎臓、呼吸器等の重い病気のある市民		平成24年度		平成24年度	:	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	度 25年度以 現状維持 26年度以 限方向性 現状維持 降方向性	平成24年度	説明欄:	平成24年度 25年度以 現状維持 26年度以 限方向性 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:
		根拠	予防接種法	月順、竹次命寺の里v 州入のめる中氏		28,288		10,250		36	23,794	1,398	25,192	② <u>必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 を                                  </u>	_		必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 23,794	
	健康課長 原田 祐子	等				(人)		(人)		( % )				<ul><li>説明欄:予防接種法に基づき実施。インフルエンザが重症化しやすい高齢者に対する</li><li>□ワクチン接種であり、介護施設等での感染</li></ul>			説明欄:予防接種法に基づき実施。インフルエンザが重症化しやすい高齢者に対するワクチン接種であり、介護施設等での感染	
				<ul><li>①季節性インフルエンザ予防接種=10月から翌年1月に、対象者にインフルエンザワクチンの個別接種を実施。</li></ul>	,	平成23年度		平成23年度	:	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	t 拡大の防止にも必要不可欠である。 実施医療機関も市内および近隣4市に広	平成23年度		平成23年度 拡大の防止にも必要不可欠である。 実施医療機関も市内および近隣4市に広	
10-02-23		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容 ②新型インフルエンザワクチン接種費用の 助成	対象者数	27,235	接種者数	10,570 接種	率	39	25,737	1,520	27,257	げており、接種しやすい環境も整えられて いる。 ア 豚インフルエンザの発生によりインフル			げており、接種しやすい環境も整えられている。 25,737 豚インフルエンザの発生によりインフル	
	予防接種事業(二類	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(人)		( % )				ボインフルエンリの発生によりインフル エンザ予防接種の有効性に対する認識は広 一まっている。広報等の効果的な周知によ			エンザ予防接種の有効性に対する認識は広まっている。広報等の効果的な周知によ	
	疾病)		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成22年度		平成22年度	:	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	度 り、今後も接種率の向上に取り組む。25年 度からB類疾病。	平成22年度		平成22年度 り、今後も接種率の向上に取り組む。25年度からB類疾病。	
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 予防接種の普及促進を図り伝染病の 発生及びまん延を予防する。		28,093		11,980		43	24,860	1,320	26,180	定期予防接種は、地方交付税措置により 接種費用の2割から3割程度が交付され 01 ス	,		定期予防接種は、地方交付税措置により 接種費用の2割から3割程度が交付され 24,860 ろ	
			□ その他( )			(人)		(人)		( % )						24 no 144 no 144 no 144		537 ULI 188
	健康課 予防係		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	①子宮頸がん予防ワクチン: 中学1年生~高校1年生相当の女子 ②ヒブワクチン③ハ田肺炎球菌ワクチン:	(1)子宮頸がん	平成24年度		平成24年度 (1)1,371(2)-①			平成24年度	平成24年度	平成24年度	度 25年度以 廃止(完 26年度以 廃止(完 降方向性 了·統合含 降方向性 了·統合含	平成24年度	説明欄:都の補助金(都基準額の1/2補助) 39,348千円	平成24年度     25年度以     26年度以       降方向性     降方向性	説明欄:
	保健サービス係	根拠	・子宮頸がん予防等ワクチン接種緊急促進 臨時特例交付金交付要綱(国) ・平成24年度東京都子宮頸がん等ワクチ	生後2か月から5歳未満の乳幼児	中学1年生	3,703 (3)-①		2,348(2)-②849 (3)-①2,352(3)-	(2	1)19%(2)①96% ②22%(3)①96% ②25%	78,252	1,896	80,148	8 <u>必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3</u>	38,904	1回の接種について、国 の基準額のうち1割相当	必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	等	ン接種緊急促進事業補助金交付要綱(都) ・東久留米市子宮頸がん等ワクチン接種事		~高校2年生相 当の女子の対 象接種数	(人)		(人)		( % )				<ul><li>説明欄:国による子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金の設置に伴い、</li><li>一任意予防接種である子宮頸がんワクチン・</li></ul>		の自己負担金(一部自己 負担金免除者有)。地方 交付税措置により接種費	説明欄:	
			業実施要綱	市内及び協定を結ぶ近隣4市(小平市・東村山市・清瀬市・西東京	(2) ヒブワ	1		平成23年度	L		平成23年度	平成23年度	平成23年度	★ ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの 3 ワクチンについて、接種を希望する保護		交付税措直により接種資 用の45%程度が交付さ れる。	平成23年度	
10-02-24			□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額		の延べ接種回 数②1~4歳児 の対象接種数		接種延べ回数	(1)3,395(2)-① 2,063(2)-②783 (3)-①2,027(3)- 接種	率 5	1)51.4(2)-① 0.8 2)-②21.1(3)-	104,981	2,060	107,041	者に助成している(一部自己負担金有)。 接種による予防効果は高いため、国・都の で付金設置に基づき実施していく。25年度		-		
	子宮頸がん等予防ワ	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		(3) 小児用 - 肺炎球菌ワク			( )		( )				父刊金版直に基づさ美麗していく。25年度   からA類疾病になることで、10-02-22予以   接種事業 (一類疾病) に含まれることで、				
	クチン接種事業	<u> </u>	□ 直営(委託無) ■ 全部委託	乳幼児に死亡または重篤な後遺症を残すことのある 小児制菌性髄膜炎ほか感染症の原因となるとブ・肺 水砂苺の減効・系質・重質ル等天味として、また	対象接種数②	1		平成22年度	]	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	度 子宮頸がん等予防ワクチン接種事業事務事 業評価としては廃止。	平成22年度		平成22年度	
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助・助成金	炎球菌の感染・発症・重篤化等予防として、また、 (とトバビローマウイルスの感染による女性特有のが、 んである子宮頸がん発症の予防として、ワクチン接 種費用を助成し、これらの疾病による死亡者や重症	対象接種数								(	0				
			□ その他( )	極質用を切成し、これらの疾病による死し者や重症 者の発生をできる限り減らす。		( )		( )		( )								

政策名 健康で幸せにすごせるまち		施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進	
------------------	--	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------	--

	所管課係名			対象指標		活動指標		成果指標		H 0			事務事業全体							
事務事業	所管課長名		事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の目的	(対象の数値指標化)		(手段の数値	指標化)				人件費 (理論値)	トータル コスト		特定財源に伴う一般財源		一般財源		全庁評価会議
番号	事務事業名				事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値		実績値	1	2	1)+(2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費 (実績額) 事業費の概要説明		事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	・ (26年度に向けた 方向性等)
	<b>予切予</b> 术位					10108	(単位)	ин	(単位)	16178	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)		(千円)	及びその理由等	
	健康課			務的 □ 努力義務的	-対象   市内の感染症患者		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	説明欄:
	予防係	根拠	感染症の予防及の感 療に関する法律(感	議染症の患者に対する医 議染症予防方法)			115,998		0			767	128	895	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 説明欄:「感染症の予防及び感染症の患者			767	必要性     4     有効性     4     達成度     3     効率性     4       説明欄:     「感染症の予防及び感染症の患者	
	健康課長 原田 祐子	等					(人)		(件)		( )				に対する医療に関する法律」において定め られた感染症を予防するために実施する事				に対する医療に関する法律」において定め られた感染症を予防するために実施する事	
			_ ^ 47+45! _ 4	**************************************	・患者が発生した場合の消毒等の契 ・約締結 ・内容 防止対策	A		「感染症の予防 及び感染症の患 者に対する医療 に関する注律			平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	<ul><li>業である。法律に定められた感染症が発生した場合、速やかに消毒作業等を行う必要がある。それに対応するために必要な事業</li></ul>			平成23年度	業である。法律に定められた感染症が発生 した場合、速やかに消毒作業等を行う必要 がある。それに対応するために必要な事業	
10-02-25					内容 防止対策	全市氏		に定める感染症			( )	837	139	976	である。 また、新型インフルエンザ(鳥インフル			837	である。 また、新型インフルエンザ(鳥インフル	
	感染症予防事業	上来	□ 市独自上乗せ(上: 	·来·倾山/ ————————————————————————————————————			平成22年度	患者発生数	平成22年度		平成22年度	亚成22年度 3	正成22年度	亚成22年度	エンザ)対策用の防護服等の備蓄について - は、発生する可能性は年々高まっている状 長況から危機管理上不可欠な事業である。鳥			平成22年度	エンザ)対策用の防護服等の備蓄について は、発生する可能性は年々高まっている状 況から危機管理上不可欠な事業である。鳥	
		事業	■ 一部委託		意図 感染症の予防とまん延の防止を図り、公衆衛生の向上、増進を図る。		116,549		0		干灰22千皮	十,以224人及	F14,22.4-12	T10,22413	インフルエンザは強毒性であり、感染拡大 の防止、治療にあたる医療従事者等の感染	十成22年度		干版224度	インフルエンザは強毒性であり、感染拡大 の防止、治療にあたる医療従事者等の感染	
		形態	□ その他(	)	り、公衆衛生の向上、増進を図る。		(人)		(件)		( )	864	114	978	を防ぐための防護服等の備蓄は市の責務で ある。			864	を防ぐための防護服等の備蓄は市の責務である。	
	健康課			務的 ■ 努力義務的	40歳以上の市民で、過去に肝炎ウィ		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 拡大 26年度以 現状維持 降方向性 拡大 降方向性	平成24年度	説明欄:健康増進事業費 補助金(基準額の1/3及	平成24年度	25年度以   26年度以	説明欄:
	特定健診係	根拠	健康増進法(国)		対象ルス検診を受けたことのない者		21,412		1,007		4.7				必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3		び基準額超過分が市の負 担)個別勧奨の40歳は自		必要性 有効性 達成度 効率性	
	健康課長 原田 祐子	一法令 等				は、過去に肝炎ウイルス検診を受け まに肝炎ウイトス検診を受けたことのない者)、被用者保険等の 加入者	(人)		(人)		( % )	4,431	4,431 1,234 5,66	5,665	記明欄:40歳、41歳以上で未受診の者に対して肝炎ウイルス検診受診券を発行し、6	732	己負担金相当額分10/10 が国の補助。 市町村総合交付金も活用		説明欄:	
					手段 保険者健診と同時実施(40歳以上		平成23年度	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度		- ~10月に市内指定医療機関にて個別健診 長実施。自己負担金500円徴収。検査を受け る者は、主に特定健診・後期高齢者健診の	平成23年度	雑入(自己負担金)500 円×449人=249,500円を 充当している。	平成23年度			
10-02-26		財源	□ 全額補助 ■ 一部	部補助有 🛮 市全額	内容 たことのない者)、被用者保険等の		20,097	受診者数	563 受診率	診率	2.8	1,717	1,338	3.055	対象者であり、被用者保険等の市民の方に	444				
	肝炎ウイルス検診事	上乗	□ 市独自上乗せ(上	乗・横出)			(人)		(人)	( % )	( % )				・					
	来	古樂	□ 直営(委託無)		意図 肝炎ウイルス感染を早期に発見し、 早期治療に結びつける。		平成22年度		平成22年度		平成22年度	及22年度 平成22年度 平成22年度 平月		平成22年度	t 市では今年度から40歳のみ実施。それにより、40歳の肝炎受診率は26.1%に急増した	平成22年度		平成22年度		
		形態		□ 補助·助成金			19,521		1,224		6.3	3,571	1,933	5,504	/ o	337				
			□ その他(	)			(人)		(人)		( % )				25年度以 服方向性 現状維持 26年度以 現状維持		説明欄:健康増進費補助		25年度以 26年度以	説明欄:
	健康課 保健サービス係	40.16	(国)	務的 ■ 努力義務的	手段 健診・健康教育・個別相談等、市民 に接する機会に手帳のメリットや活 内窓用方法を具体的に説明しながら交付	民 民 集団健診・健別 康教育・健別	平成24年度		平成24年度 1,722 ( 冊 )			平成24年度	平成24年度	平成24年度	11751312	平成24年度 金(基準額の1/3及で 基準額超過分が市の負担) 89 (事業費) ・健康手帳	平成24年度	降方向性 降方向性		
	健康課長	─法令	健康増進法第九条 (市) 健康増進計画「わく	わく健康プラン東くる			2,925				( % )	268	61	329	必要性   4   有効性   3   達成度   3   効率性   3   説明欄: 市民が健診や健康教育、健康相談を受ける際にこれまでの経過についてわかるようにしておくことで、自分の健康状態についてより深く理解することができる。   市民のライフステージに合わせた健康管理手帳として継続していく。		<ul><li>・健康手帳</li><li>・女性のための健康づくり手帳</li></ul>		必要性         有効性         達成度         効率性           説明欄:	
	原田 祐子	1	め」				亚成22年度		平成23年度			平成23年度	平成23年度	平成23年度		平成23年度		平成23年度		
10-02-27		財源	□ 全額補助 ■ 一部				2,000	健康手帳交付数		康手帳交付合						12				
			□ 市独自上乗せ(上			相談等に参加 した市民の数	(人)		( 🖩 )		( % )	152	90	242		72				
	健康手帳交付事業		■ 直営(委託無)		各種健康診査の結果や健康相談の内	<u> </u>	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	- E	平成22年度		平成22年度		
		事業 形態	□ 一部委託	□ 補助·助成金	意図 容を記録し、自らの健康管理、健康 づくりに活用することができる。女		3,355		1,450		43	171	99	270		78				
			□ その他(	)	性健康手帳も活用する。		(人)		( 删 )		( % )									AV 200 100
	健康課 予防係			務的 □ 努力義務的	気管支ぜん息にり患していて、都内 対象 に引き続き1年以上住所を有し、健		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	平成24年度	説明欄:	平成24年度	25年度以 26年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
		根拠	費の助成に関する条	康隨害者に対する医療	康保険等に加入している市民		516		516		100	1,898	50	1,948	必要性   4   有効性   4   達成度   4   効率性   3   3   3   3   3   3   3   3   3				必要性         有効性         達成度         効率性           説明欄:	
	健康課長 原田 祐子	<b>等</b>	(東京都)				(人)		(件)		( % )				説明欄:福祉保健区市町村包括補助による 全額補助により実施。 東京都の大気汚染に伴う気管支ぜんそく				1872-72   77   78   78   78   78   78   78	
			_ ^******		手段 東京都への大気汚染医療費助成の申 請を東京都に代わって受理する。	対象者数	平成23年度	1	平成23年度	-			年度 平成23年度 平成23		等に対する、2年に1度更新手続きが必要な 医療費助成である。市民の利便性を考え、 受理事務について市で行うのは妥当である	平成23年度		平成23年度		
10-02-28 大気汚染医 受付事務			■ 全額補助 □ 一部 □ 市独自上乗せ(上	제고나 그 보면	hit.	対象者数		申請件数		助成件数	100	1,848	27	1,875	75 と考える。					
	大気汚染医療費助成 受付事務		□ 巾独目上乗せ(上: 				平成22年度		平成22年度		( % ) 亚成22年度	平成22年度	正成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度	-	
		事業			大気汚染の影響を受けると推定され 意図 る疾病にかかった者に対し医療費を		<b>1</b>		<b>1</b>		100		. m=4 干汉	· /*****		1 加红牛皮		1 7444年及		
		形態	□ その他(	)	助成する。		(人)		(件)		( % )	1,859	29	1,888	3					
<u> </u>									/		/				<u> </u>					

政策名	健康で幸せにすごせるまち		施策番号·名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号·名	10-02	健康づくりの推進
-----	--------------	--	--------	----	-------------------	--	----------	-------	----------

Minimak					1									+ %-+ db. A. I.	ân di ve v										
Minuse		所管課係名								活動指標 (意図し)		意図したことの結果の		1 /4 200		事務事業全体						_			
Martin   M		所管課長名					(列家の数値拍標化)		(子校の妖虐	数値指標		[化]					特別	財源に伴う一般財源	一般財源						
March   Marc	番号	<b>車</b> 数 車 类 夕		(根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	北海	実績値	+ <b>ヒ</b> +=	実績値	比描	実績値	1	2	1)+2)			東拳拳の揮車説明		事務事業の	5向性、項目別	評価			
Part		争伤争未有					扫标	(単位)	担保	(単位)	担保	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	争未員の似安証明	(千円)	及び	その理由等				
Part					義務的対			平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度		平成24年度	金を活用	平成24年度				説明欄:		
Part		特定健診係	根拠	感染症予防法(国)	\[ \text{\tin}\text{\tetx{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\\\ \ti}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}	■ 康保険加入者、後期高齢者医療被保 険者		26,872		13,847		51.5	20.000	1.004	40.504		00 000	(自己負担金) 500円×		必要性 有効性	達成度	効率性			
August			等					(人)		(人)		( % )	38,960	1,604	40,564	説明欄:結核の早期発見・早期治療を目的 に、65歳以上の市民に対しては、1年に	22,226	充当している。		説明欄:					
1					手	特定健診時に胸部レントゲン、便潜		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	れているため、事業継続が必要。6~10	平成23年度		平成23年度						
# 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10-02-29		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □	<b>市全額</b> 内		対象者数	25,986	受診者数	13,361 受	診率	51.4	41,945	1,740	43,685	できるため受診者が多く効率的である。平	24,162								
			上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(人)		(人)		( % )				し、大腸がん検診(2日法)に移行した。									
		追加 <b>坦日健</b> 診事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託				平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度						
			事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成	意意	意図 病気の早期発見、治療を行う。 (胸部疾患、消化器疾患)		25,382		13,147		52.0	41 610	1 022	42 559		12 224								
14   14   14   14   14   14   14   14				□ その他( )				(人)		(人)		( % )	41,013	1,000			13,824								
Author		健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努	義務的	40歳以上の生活保護受給者及び中国		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 降方向性 現状維持	平成24年度	補助金(基準額の1/3	平成24年度				説明欄:		
特別技術   1 日本		特定健診係	根拠	健康増進法(国)	×	対象者には個別通知 市内指定医療機関にて個別健診実施 問診、身体計測、診察、血圧、血液 検査(血糖、脂質、肝機能、)、尿 検査、 資血、心電図、胸部レントゲン、便	液尿	1,403	(	341		24.3	0.554	0.405	0.101		3	負担)		必要性 有効性	達成度  効率性	効率性			
Purple								(人)		(人)		( % )	3,774		6,181	説明欄:受診に関する案内を対象者至員に 個別通知。誕生月毎に健診実施月を分け、	729	11年1716日又17至 51日月		説明欄:					
19   19   19   19   19   19   19   19					手			平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度		平成23年度	実施。特定健診に準ずる健診項目を実施	平成23年度		平成23年度						
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	10-02-30		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □	市全額 内			1,245	5 受診者数	318 受	) (	25.5				気の早期発見・早期治療のために1年に1									
「日本の他(		無保険者健康診査事	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(人)		(人)		( % )	3,785	2,609	6,394		760								
日本の他( )   日本の他( ) 日本の他( )   日本の他( )		業		□ 直営(委託無) □ 全部委託				平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度		平成22年度						
日本の他(			事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成	意意	図 病気の早期発見、治療を行う。		1,058		271		25.6			1										
特定性診係   根拠   対象   計画   は歳 : 50歳				□ その他( )							(人)		(人)		( % )	3,373	2,899			611					
特別		健康課		□ 自主的 □ 義務的 ■ 努		20・25・30・35・40歳の女性、【乳がん検		平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以 降方向性 現状維持 26年度以 現状維持 降方向性 現状維持	平成24年度	業費等補助金(平成21	平成24年度				説明欄:		
作家課長   原田 祐子   下級   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日		特定健診係		がん検診推進事業実施要綱(国)	[X]	性、【大腸がん検診】40・45・50・55・60		15,193		3,371		22.2	94 679	4 900	90.499		9 690	平成22年度から1/2		必要性有効性	達成度	効率性			
10-02-31						post total total state of the	対象者数: 亚成	1 1		(人)		( % )	) ' '	4,809	29,482	説明欄:平成21年度から制度がスタート。 平成23年度から「がん検診推進事業」と名	2,628	平成22年度からは市町		説明欄:					
10-02-31					手	手段 診の実施 「到がん」	21年22年度:	平成23年度		平成23年度		平成23年度		平成23年度	れた。	平成23年度		平成23年度							
上乗 □ 市独目上乗せ(上乗・横出)	10-02-31		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □	市全額 内	(孔房エツク / 豚快宜) の美胞	診、乳がん検 診	15,450	受診者数		診率	26.4	26 442	5 919	21 656	に委託。	4.070								
□ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 補助・助成金 □ 有助・助成金 □ 有力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・		がん絵診μ准重要	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)		5-4315 f 14 f 15 f 313 4-15	ら大腸がん検					( % )	20,440	0,210	51,056	特に、東京都予防医学協会はわくわく健康	4,070								
事業 形態     ■ 一部委託     □ 補助・助成金     意図     国のがん対策事業で受診率を50%まで引き上げる。     7,752     28.5     28.5     は診等と同時実施したことにより、受診率が18.1%に急増した。		~ /01天101庄严于木		□ 直営(委託無) □ 全部委託			HZ XE/JH	平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	(医師・レントゲン技師含む) 全員が女性	平成22年度		平成22年度						
ロスの他( )   20,549   3,540   20,500   518.1% ( 急増した。   5,000			事業 形態	事業 形態 ■ 一部委託 □ 補助・助成金	意	図 国のがん対策事業で受診率を50%まで引き上げる。		7,752		2,212		28.5	92 949	5 240	99 500	検診について、特定健康診査・後期高齢者健診等と同時実施したことにより、悪診察	2 960								
				□ その他( )				(人)		(人)		( % )	20,243	0,346	20,089	か18.1%に急増した。	3,860								